



向日が丘相談・支援センターニュース

令和元年 秋号

7月27日(土) WISC-IV研修会

WISC-IV研修会を今年度も実施しました。大六一志先生を講師にお迎えしての「そうだったのか！WISC-IV研修会」も今年で8回目を迎えました。今年度は、乙訓地域の小学校、中学校、圏域の高等学校、特別支援学校等から48名の方々に御参加頂きました。WISC-IVの概要と基礎や、検査結果の得点の特徴からみられるつまずきの原因の理解とその対応について事例を交えながらお話し頂きました。また、実際の支援の際に使える、教材、教具、支援グッズ等もご紹介頂き、たくさんの学びある研修会となりました。

参加者からは「検査の理論、概要から解釈、支援に至るまで具体的なケースをまじえながら非常に具体的に丁寧に御説明頂き大変わかりやすい講義だった。長時間のスケジュールだったが、時間の経つのがとても早く感じた。」
「基礎的な解釈と具体的な支援の教材までお話し頂きイメージがもちやすかった。内容も盛りだくさんでしたが、まだ聞き足りないくらい。」など研修会の内容が充実していたことが、みなさんの感想の中からも多く感じられました。



8月21日(水) 乙訓特別支援教育研修会 2019 夏のセミナー

「一人も置き去りにしない`全ての子ども達の「学び」の質の向上 ~小・中学校で役立つ応用行動分析学~」

今年度の夏のセミナーは大久保賢一先生を講師にお迎えし、193名の方に御参加いただきました。「子どもの成長と適応を支えるポジティブ行動支援」をテーマにお話し頂き、行動によって本人は何が得られるのか、行動の後に関わる人がどう対応するのかなど、応用行動分析の視点から子ども達の行動を理解し、望ましい行動や自立的な行動を促すための支援や対応について学びました。

参加者の感想からは、「応用行動分析についての概略だけでなく、具体的な事例を挙げて頂いたことで、子供の顔を思い浮かべながら聞くことができた。2学期が始まる前に聞いたのでもう一度内容を整理し、アセスメントをしながら指導、支援に生かしていきたい。校内全員で共有したい内容だった。」「問題行動への対応がとてもわかりやすかった。まずはABC分析をし、理由を探り、子どもが伝えたいメッセージを読み取る、そして問題行動を起こさせず、代替りの行動を教えるのが教育だということが強く心に残った。」など、実際に子どもと関わる際などのヒントになるものを研修会の中で見つけて頂けたことがわかりました。

ABA

(応用行動分析)



●今年度もWISC-IV研修会、夏のセミナーと多数の方々に御参加いただきありがとうございました。2学期からのどこかで、何かの形で研修会での学びを生かして頂けると幸いです。次の研修会「冬のセミナー」を2月7日(金)に予定しております。日が近くなりましたら詳細をホームページにて御案内させていただきます。